



*The Global Alliance for
Sustainable Supply Chain*

2021年4月12日

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・
フォー・サステイナブル・サプライチェーン
Communication on Engagement

1. 代表理事による継続的支持の表明

2021年4月12日

ステークホルダーの皆さまへ

私は、ここに一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーンが国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境、および腐敗防止に関する10原則を支持することを再度表明いたします。

弊団体は国連グローバル・コンパクトおよびその原則を、事業戦略や企業文化、日常業務により一層浸透させるべく、継続した取り組みを行ってまいりました。

このCommunication on Engagementにて、その取り組みについてご報告致します。

また弊団体ウェブサイトでは、弊団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆さまに紹介しておりますのでご確認いただければ幸いです。

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン

代表理事 下田屋 毅

2. 取り組み状況

人権

- 人権についての講義の実施
 - 人身取引を含む現代奴隷制や、サプライチェーン上の労働者の人権侵害について、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのラーニングフォーラム、各分科会に登壇の機会をいただきお伝えするとともに、当団体の主催するセミナー、ウェビナーで会員企業を含むステークホルダーに対して意識啓発を実施した。
 - 特定の会員企業に対してサプライチェーン上の人権に関するEラーニング
- 国連ビジネスと人権に関する指導原則に基づき、指導原則の普及を実施
 - グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンと国連で開催されているビジネスと人権フォーラムへの参加ツアーを2018年、2019年に共同開催（2020年はオンラインの為ツアー実施されず）
- 人権デューデリジェンスの推進
会員企業の人権デューデリジェンスの実施を行い、人権影響評価や国別人権影響評価のプロジェクトを実施した。

労働

- サプライチェーンで労働問題を解決するためのセミナーの開催
 - ベトナム、中国、ミャンマー、インドネシアにて、繊維業界の工場経営者に対し、労働問題についてのセミナー/ウェビナーを実施。国際労働機関（ILO）、にご登壇いただき、労働法・労働争議、強制労働、児童労働に関する動向等について、情報共有を行いました。
- 社会労務監査と改善を行う上でのアドバイス
 - 主に繊維業界、食品加工業界における会員企業のサプライヤー工場への社会労務監査を実施。労働安全衛生、労使関係や労働問題に関して、調査をするとともに、改善の指導を実施。
- 外国人労働者ラウンドテーブル運営・関連プロジェクト（継続）
 - 日本国内の問題となっている外国人技能実習生を含む外国人労働者の責任ある企業の受け入れについて、企業や関連団体を巻き込んだラウンドテーブルを定期開催。



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

- 外国人労働者ラウンドテーブルの成果物として「外国人労働者の責任ある受入れに関する東京宣言 2020」（通称「ASSC 東京宣言 2020」）を発表し、18 団体が賛同を表明している。
- 国際協力機構（JICA）との提携により 2020 年 11 月「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」を協働で立ち上げを実施、外国人労働者の責任ある受入れに関するセミナーなどを随時開催している。
- 国連ビジネスと人権に関する指導原則に基づく苦情処理メカニズムの構築
 - 会員企業の苦情処理メカニズムの構築支援として、ASSC ワーカーズ・ボイスを対象企業のサプライヤーへ導入した。

環境

- 社会労務監査と改善を行う上でのアドバイス
 - 主に繊維業界、食品加工業界における会員企業のサプライヤー工場への社会労務監査を実施。監査項目に含まれる環境マネジメントシステムや廃棄物管理、エネルギー使用に関して調査をするとともに、改善の指導を実施。
- 原材料調達における農家での環境影響を削減する活動
 - 世界的な綿花のイニシアチブである Cotton2040 との連携により日本におけるブランド企業・小売り企業のサステナブル・コットンの調達量の増量のプロジェクトを推進し、農家における環境影響の削減に努めている。
 - サトウキビの国際認証を持ちサトウキビのサステナビリティを推進する NGO である Bonsucro との連携により日本におけるサトウキビ由来の製品製造を行う企業に対してセミナーやウェブサイトを通じて啓発活動を行うとともに、Bonsucro 認証品の使用から農家における環境影響の削減に努められるように努力している。
 - 大豆の国際認証を持ち大豆調達におけるサステナビリティを推進する NGO である RTRS（責任ある大豆調達に関する円卓会議）との連携により日本における大豆由来の製品製造を行う企業に対してセミナーやウェブサイトを通じて啓発活動を行うとともに、RTRS 認証品の使用から農家における環境影響の削減に努められるように努力している。
- 再生紙の利用
 - 社内で利用するプリンタ・FAX 等で消費する用紙について、すべて再生紙を使用している。
- 使用エネルギーの削減
 - 社内で使用する電力について使用量を削減する努力をしている。



腐敗防止

- 企業の方針・ガイドラインの策定
 - 企業が人権方針や調達方針の改訂する際に、腐敗防止について明確に示した方針案を作成し、改訂の支援を実施した。
- 腐敗防止に関する情報収集
 - 社会労務監査や協働によるアドバイスを適切に行うために、常日頃から情報の収集を実施している。
- 腐敗防止に関する取り組み
 - 組織内において、日頃から腐敗防止に努めるように教育を実施。

3. 結果の測定

- 協働を実施している会員企業の方針や CSR/サステナビリティレポート等
- 社会労務監査の実施履歴
- 講演・セミナーの実施報告

以 上